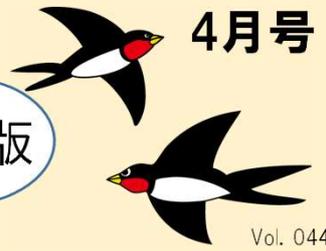


# 昭和肥料ニュース

FAX版



Vol. 044

## 硫黄：低コスト、省力栽培で不足しがちな栄養素

作物の栽培指針として、NPKの施用量や好適pHについては各地で指導されています。ところがそれ以外の項目については、明確な指針は無く、いわば篤農家の秘中の技となっているように思います。

今回はその「秘中の技」の一つとして「硫黄」を紹介します。

## 硫黄を与えると何か調子がいい

化成肥料が暴騰し、低コスト＆省力栽培志向から硫黄の補給が急激に減少しています。不足する必須栄養素が1つでもあれば、収量・品質は頭打ちになることは必定です（ドベネックの桶理論）「硫黄の不足」が今まさに問題です。

篤農家は硫黄を上手く使うことで

- ・天候が悪い年でも収量減が比較的軽微である（生育不良が少ない）
- ・予防薬の使用程度で病気が蔓延しない（病害に強い作物体になっている）

など、資材高であっても「売れる作物」作りに成功しています。

ダイズ、トウモロコシ、トマト、オクラ、アブラナ科野菜全般、ネギ類全般、などは特に硫黄を欲しがることが知られています。

## どの資材を使うと良いか

◎速効&数か月持続型「硫黄 + カルシウム + 微量元素」の **硫酸カルシウム**

◎ジックリ型「硫黄補給特化 + JAS適合 + 土壌富化効果」の **硫黄資材**

機能的で実績があります。個別の銘柄名・使い方は弊社へお訊ねください。

今、お客様へお伝えしたいことは「NPKをどうやって減肥するか」、だけではなく「NPKを無駄なく喰わせて、収量を上げるか」です。総コストの最適化と安定生産の両立が目指すべき到達点です。そのため硫黄を筆頭に各種微量元素資材、アミノ酸資材、菌資材などを上手に使うことが益々必要になります。



### 硫黄資材【ハモエース】

- ・有機JAS適合資材 → 安心安全な作物づくりに好適です
- ・硫黄成分50% → 100kg施用でpH0.3程度下げられます
- ・泥炭由来の腐植、ゼオライトも使用 → 土作り（富化）効果

高度化成の連用で疲れた圃場の回復（収穫量ジリ貧対策）  
土壌に眠っている微量元素の有効化にも寄与します